

# DBWedge™ for Unitech

## 取扱説明書

## 目次

1. はじめに .....	1
1.1. 製品の特長 .....	1
1.2. 対応 OS .....	1
2. インストールとアンインストール .....	2
2.1. インストール .....	2
2.2. アンインストール .....	2
3. ライセンス認証 .....	3
3.1. ライセンス認証 .....	3
3.2. 評価版 .....	3
4. 各種画面 .....	4
4.1. メイン画面 .....	4
4.2. 設定画面 .....	5
4.2.1. 通信設定 .....	5
4.2.2. 出力設定 1 .....	6
4.2.3. 出力設定 2 .....	8
4.2.4. ログ設定 .....	10
4.2.5. マスタ設定 .....	11
4.3. マスタ管理画面 .....	12
4.3.1. マスタ管理 .....	12
4.3.2. マスタ登録 .....	13
4.4. ログ確認画面 .....	14
お問合せ窓口 .....	15

## 1. はじめに

### 1.1. 製品の特長

DBWedge™ for Unitech は、シリアル接続されたバーコードリーダーから受信したデータをアクティブなウィンドウに出力するソフトウェアです。

マスタを登録すると、受信したデータをマスタに登録された内容に変換して出力することができます。

※本製品は **USB・COM インターフェーススキャナ**のみに対応しており、  
「**USB バーチャル COM (V-COM)**」設定が必要となります。

### 1.2. 対応 OS

Windows 11

## 2. インストールとアンインストール

### 2.1. インストール

- ①「setup.msi」を起動してください。
- ②インストールが開始されますので、メッセージに従ってインストールしてください。

### 2.2. アンインストール

コントロールパネルより、[ プログラムと機能 ] →[ DB Wedge ]→[ アンインストール ] を選択してください。

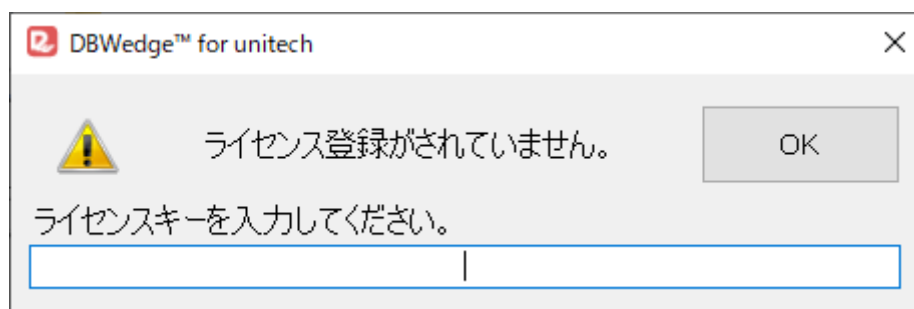
## 3. ライセンス認証

### 3.1. ライセンス認証

DBWedge™ for Unitech のライセンス認証がされていない状態でのアプリ起動時、ライセンス登録画面が表示されます。ライセンスキーを入力してください。

ライセンスキーがない場合は次のフォームからライセンスの申請をお願いします。

<https://www.unitech-japan.co.jp/dbwedge.html>



### 3.2. 評価版

ライセンスキーが入力されていない場合、評価版として動作します。

評価版では、以下の読取制限がかかります。

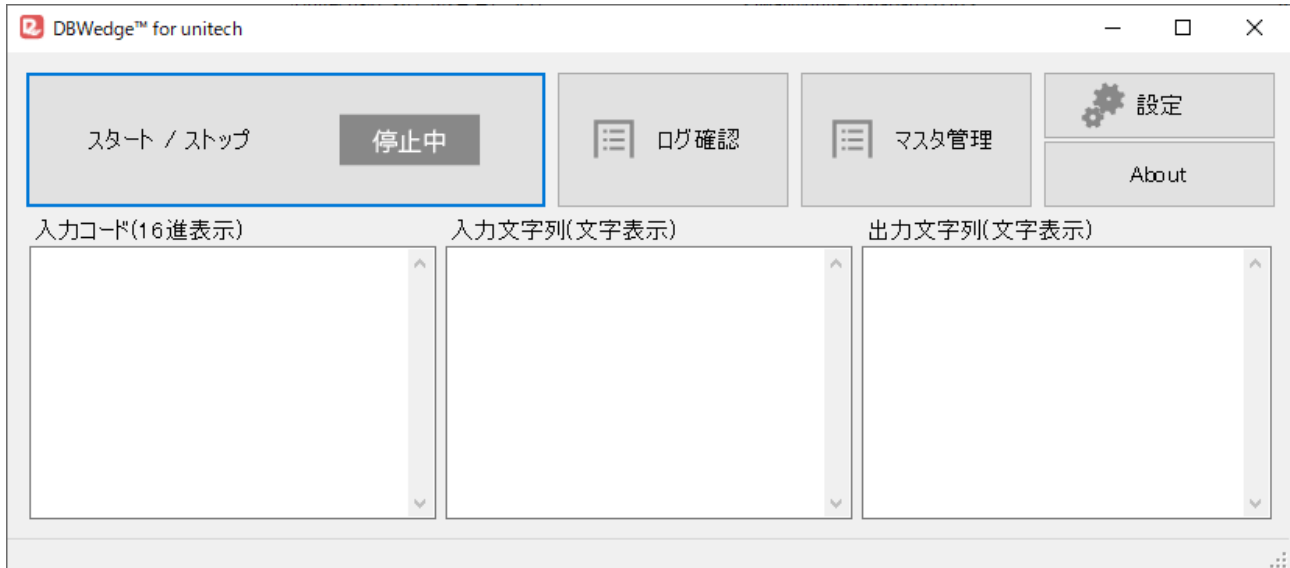
- ・ 20 回の読取制限

読取制限をオーバーした場合、アプリが終了します。

再起動していただくと、再度使用可能になります。

## 4. 各種画面

### 4.1. メイン画面



- ・スタート / ストップ … スキャナへの接続を開始、終了します。
- ・ログ確認 … 読み取り履歴の表示、出力を行います。
- ・マスタ管理 … マスタの登録、登録されたマスタの確認を行います。
- ・設定 … 本アプリケーションの各種設定を行います。
- ・About … About 画面を表示します。

本画面がアクティブな状態でコードの読み取りを行うと、以下の項目の表示を行います。

- ・入力コード（16進数表示）… 受信データを16進数で表示します。
- ・入力文字列（文字表示）… 受信データを文字列に変換し、表示します。  
制御コードは<0D>のように<>で囲んで表示します。
- ・出力文字列（文字表示）… 受信データに置換、抽出、マスタ検索処理を行った後の文字列を表示します。  
制御コードは<0D>のように<>で囲んで表示します。

## 4.2. 設定画面

### 4.2.1. 通信設定

設定

通信設定 出力設定1 出力設定2 ログ設定 マスタ設定

通信設定

COM番号	COM3	通信速度	9600
データ長	8	ストップ	1
パリティ	なし	フロー制御	XON/XOFF
RTS	無効	DTR	無効
受信待ち時間(ミリ秒)	50		

確定

#### ○通信設定

- ・COM 番号 … 通信を行う COM 番号を設定します。
- ・通信速度 … 通信速度を設定します。
- ・データ長 … データ長を設定します。
- ・ストップ … ストップビットを設定します。
- ・パリティ … パリティを設定します。
- ・フロー制御 … フロー制御を設定します。
- ・RTS … Request To Send を設定します。
- ・DTR … Data Terminal Ready を設定します。
- ・受信待ち時間 … データを受信してから、データの解析を開始するまでの時間を設定します。

## 4.2.2. 出力設定 1

## ○データ置換

置換前、置換後の文字列を指定して、読み取りデータの置換を行います。

データの置換はデータの抽出後に行われます。

置換後の文字を指定しなかった場合、置換前の文字列は削除されます。

## ○データ抽出

開始位置、抽出桁数を指定して、読み取りデータの抽出を行います。

開始位置が読み取り桁数を超過している場合、読み取りデータは空になります。

開始位置 抽出桁数が読み取り桁数を超過している場合、開始位置以降の文字がすべて抽出されます。

開始位置が 0 の場合、抽出は行いません。

桁数が 0 の場合、開始位置以降の文字がすべて抽出されます。



## ○受信開始/終了コード

- ・開始コード … 読み取り時に、ここで設定されたコードより後のデータのみ使用します。
- ・終了コード … 読み取り時に、ここで設定されたコードより前のデータのみ使用します。
- ・設定 … 受信開始/終了コードの設定を行います。

受信開始コード設定
×

削除

NULL	SOH	STX	ETX	EOT	ENG	ACK	BEL	BS	HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
0x00	0x01	0x02	0x03	0x04	0x05	0x06	0x07	0x08	0x09	0x0A	0x0B	0x0C	0x0D	0x0E	0x0F
DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
0x10	0x11	0x12	0x13	0x14	0x15	0x16	0x17	0x18	0x19	0x1A	0x1B	0x1C	0x1D	0x1E	0x1F
SP	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0x20	0x21	0x22	0x23	0x24	0x25	0x26	0x27	0x28	0x29	0x2A	0x2B	0x2C	0x2D	0x2E	0x2F
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0x30	0x31	0x32	0x33	0x34	0x35	0x36	0x37	0x38	0x39	0x3A	0x3B	0x3C	0x3D	0x3E	0x3F
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0x40	0x41	0x42	0x43	0x44	0x45	0x46	0x47	0x48	0x49	0x4A	0x4B	0x4C	0x4D	0x4E	0x4F
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
0x50	0x51	0x52	0x53	0x54	0x55	0x56	0x57	0x58	0x59	0x5A	0x5B	0x5C	0x5D	0x5E	0x5F
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0x60	0x61	0x62	0x63	0x64	0x65	0x66	0x67	0x68	0x69	0x6A	0x6B	0x6C	0x6D	0x6E	0x6F
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	DEL
0x70	0x71	0x72	0x73	0x74	0x75	0x76	0x77	0x78	0x79	0x7A	0x7B	0x7C	0x7D	0x7E	0x7F
0x80	0x81	0x82	0x83	0x84	0x85	0x86	0x87	0x88	0x89	0x8A	0x8B	0x8C	0x8D	0x8E	0x8F
0x90	0x91	0x92	0x93	0x94	0x95	0x96	0x97	0x98	0x99	0x9A	0x9B	0x9C	0x9D	0x9E	0x9F
0xA0	0xA1	0xA2	0xA3	0xA4	0xA5	0xA6	0xA7	0xA8	0xA9	0xAA	0xAB	0xAC	0xAD	0xAE	0xAF
0xB0	0xB1	0xB2	0xB3	0xB4	0xB5	0xB6	0xB7	0xB8	0xB9	0xBA	0xBB	0xBC	0xBD	0xBE	0xBF
0xC0	0xC1	0xC2	0xC3	0xC4	0xC5	0xC6	0xC7	0xC8	0xC9	0xCA	0xCB	0xCC	0xCD	0xCE	0xCF
0xD0	0xD1	0xD2	0xD3	0xD4	0xD5	0xD6	0xD7	0xD8	0xD9	0xDA	0xDB	0xDC	0xDD	0xDE	0xDF
0xE0	0xE1	0xE2	0xE3	0xE4	0xE5	0xE6	0xE7	0xE8	0xE9	0xEA	0xEB	0xEC	0xED	0xEE	0xEF
0xF0	0xF1	0xF2	0xF3	0xF4	0xF5	0xF6	0xF7	0xF8	0xF9	0xFA	0xFB	0xFC	0xFD	0xFE	0xFF

- ・削除 … 設定済みの受信開始/終了コードを削除します。
- ・表を選択 … 受信開始/終了コードを追加します。

## 4.2.3. 出力設定 2

## ○データ付加

- ・プレフィックス … 読み取りデータを出力する際に、前に付加する文字列を指定します。  
半角英数字、一部の特殊キーを設定できます。
- ・サフィックス … 読み取りデータを出力する際に、後に付加する文字列を指定します。  
半角英数字、一部の特殊キーを設定できます。
- ・特殊キー … プレフィックス/サフィックスに特殊キーを付加することができます。

F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8
F9	F10	F11	F12	F13	F14	F15	F16
BackSpace	CapsLock	Delete	End	Enter	Esc	Home	Insert
NumLock	PageDown	PageUp	PrintScreen	ScrollLock	Tab	↑	→
←	↓						

特殊キー一覧から付加したい特殊キーを選択してください。

例) 「Enter」を選択した場合、プレフィックス、サフィックスのテキストボックスに「{enter}」が付加されます。

その設定がされた状態で読み取りを行うと、読み取りデータを出力する際に特殊キー「Enter」が付加されます。

- ・ウェイト … プレフィックス出力から読み取りデータ出力までの待機時間、読み取りデータ出力からサフィックス出力までの待ち時間を設定します。

○制御コード

そのまま出力：制御コードをそのまま出力します。

16 進数表示：制御コードを 16 進数に変換し、<>で囲んで出力します。

削除：制御コードを出力しません。

※マスタ使用時は「削除」となります。

※制御コードの設定は「削除」を推奨します。

○出力時の動作

・出力方法

キー出力なし：読み取りデータの出力を行いません。

コピー＆ペースト：読み取りデータをアクティブなウィンドウへペーストして出力します。

キーエミュレート：読み取りデータをアクティブなウィンドウへキーボード入力として出力します。

※半角カナを出力する場合「コピー＆ペースト」を使用するか、Windows の設定から「以前のバージョンの Microsoft IME を使う」を有効にしてください。

・IME の制御を行う … ON にすると、Microsoft IME の日本語入力が ON の場合に OFF にしてからデータの出力を行います。

・コピー＆ペースト時既存テキストを保持 … 出力方法に「コピー＆ペースト」を選択している場合に、クリップボードにすでにあるテキストデータを残します。

## 4.2.4. ログ設定

## ○ログ記録

- ・ログの記録を行う … ON にすると、コード読み取り時、履歴にデータを保存します。

## ○保存内容

## ・保存データ

読み取ったデータ：置換、抽出、マスタ検索処理を行う前のデータを履歴に保存します。

置換等実施後のデータ：置換、抽出、マスタ検索処理を行った後のデータを履歴に保存します。

## ・制御コードの扱い

16 進数表示：履歴を出力する際、制御コードを 16 進数に変換し、<>で囲んで出力します。

削除：履歴を出力する際、制御コードを出力しません。

※マスタ使用時は「削除」となります。

## ○出力内容

- ・日付を出力する … ON にすると、履歴を出力する際、撮影年月日を出力します。

- ・時刻を出力する … ON にすると、履歴を出力する際、撮影時刻を出力します。

- ・文字コード … 履歴を出力する際の文字コードを指定します。

## 4.2.5. マスタ設定

## ○マスタ参照

- ・マスタ参照を行う … ON にすると、コード読み取り時、マスタの参照を行います。  
読み取ったコードがマスタに存在する場合、マスタに登録された内容で出力を行います。
- ※マスタ参照はデータの抽出、置換後に行われます。

## ○マスタインポート

- ・既存マスタの扱い  
上書き：マスタを CSV ファイルからインポートする際、既存のマスタを削除します。  
追加：マスタを CSV ファイルからインポートする際、既存のマスタに追加でマスタを登録します。
- ・文字コード … マスタを CSV ファイルからインポートする際の文字コードを指定します。

## ○出力時の動作

- ・マスタがない場合  
エラーダイアログを表示：読み取ったコードがマスタに存在しない場合、エラーダイアログを表示し、データの出力は行いません。
- そのまま出力：読み取ったコードがマスタに存在しない場合でも、特別な処理を行いません。

## 4.3. マスタ管理画面

## 4.3.1. マスタ管理

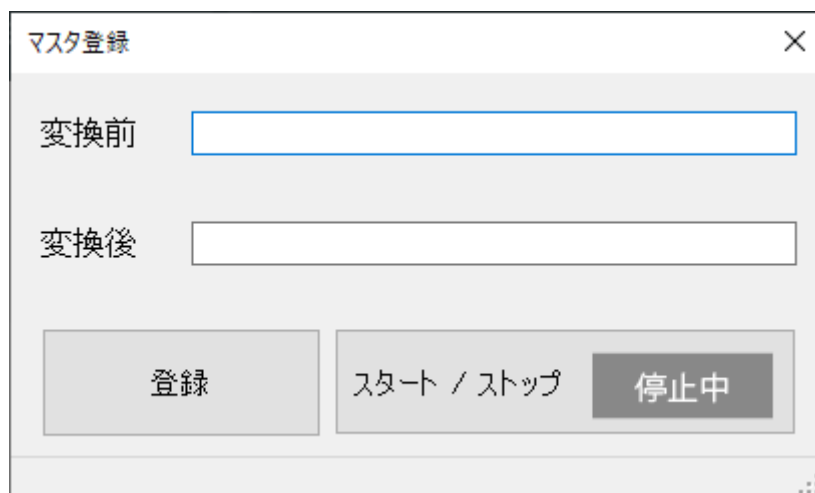
登録されているマスタを表示します。

- ・検索文字 … 表示するデータを指定します。
- ・検索対象  
 変換前データ：変換前のデータを対象に検索を行います。  
 変換後データ：変換後のデータを対象に検索を行います。
- ・検索 … データの検索を行い、画面の表示を更新します。
- ・< / > … 前/次の 1,000 件のデータを表示します。
- ・選択レコード削除 … 選択されたレコードを削除します。
- ・全件削除 … マスタをすべて削除します。
- ・マスタ登録 … 1 件ずつマスタの登録を行います。
- ・CSV インポート … CSV ファイルを選択し、一括でマスタを登録します。

CSV ファイルのフォーマットは以下の通りとなります。

No	項目
1	変換前のデータ
2	変換後のデータ

## 4.3.2. マスタ登録



マスタ登録

変換前

変換後

登録      スタート / ストップ      停止中

変換前、変換後のデータを入力し、「登録」ボタンをクリックすると、入力された内容でマスタの登録を行います。

「スタート/ストップ」ボタンをクリックすると変換前、変換後のデータをスキヤナで入力することができます。

4.4. ログ確認画面

読み取ったコードの履歴を表示します。

- ・コード … 表示するデータのコードを指定します。
- ・期間 … 表示するデータの日付を指定します。
- ・検索 … データの検索を行い、画面の表示を更新します。
- ・< / > … 前/次の 1,000 件のデータを表示します。
- ・選択レコード削除 … 選択されたレコードを削除します。
- ・全件削除 … 読み取り履歴をすべて削除します。
- ・履歴出力 … 読み取り履歴を CSV ファイルとして出力します。

出力される CSV ファイルのフォーマットは以下の通りとなります。

No	項目	備考
1	読み取り年月日	yyyy-MM-dd 形式で出力されます。 「4.2.4 ログ設定」で「日付を出力する」を有効にしていない場合、出力されません。
2	読み取り時刻	HH:mm:ss 形式で出力されます。 「4.2.4 ログ設定」で「時刻を出力する」を有効にしていない場合、出力されません。
3	読み取りコード	-



## お問合せ窓口

弊社ホームページ <https://www.ute.com/jp> お問い合わせフォームよりお問い合わせいただくか、  
[info@unitech-japan.co.jp](mailto:info@unitech-japan.co.jp) に直接メールをお送りください。



**ユニテック・ジャパン株式会社**

URL: [www.ute.com/jp](http://www.ute.com/jp)  
e-mail: [info@unitech-japan.co.jp](mailto:info@unitech-japan.co.jp)

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町18-10 東成ビルディング3階

TEL. 03-6231-0896(代)